

(様式 1)

令和 6 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1

施設名

(所管課)

富山県西部体育センター

スポーツ振興課

2

施設所在地

砺波市柳瀬241

3

施設設置年度

平成11

年度

4

設置目的

県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5

施設概要

延床面積：12,345.34㎡ 鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
大アリーナ(50m×40m・観覧席2,604席)、中アリーナ(34m×29m)
トレーニング室、体力測定室、研修室

6

指定管理者

公益財団法人富山県スポーツ協会

7

指定期間

3

年

令和5年4月1日

～

令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1)利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
84,561	96,474	111,091	105,078	124,911

(2)利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
12,842	14,275	14,920	16,086	20,443

(3)利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
22,136	22,136	22,136	23,387	23,387

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和6年度は、コロナ禍以前の水準には達していないものの、利用者数、利用料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成30年度から西部体育センター、総合体育センター及び高岡総合プールにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行っている。
- ・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行っている。
- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げや閉館時間の延長に柔軟に対応した。（繰上げ開館102件、閉館延長11件）
- ・ホームページやSNSを活用し、大会や各種教室の情報をタイムリーに発信し、サービス向上に努めた。
- ・施設利用者等へのアンケート調査やモニタリングの実施により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・引き続き、スポーツサウナ利用時間の延長運用を行った（平日30分延長、土曜日4時間繰上げ）。
- ・研修室の利用時間区分について、引き続き、1時間単位で利用できるようにした。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。
- ・隣接する砺波市温水プール及び地域スポーツクラブと連携し、事業や通常業務の一体的な運営に努め、サービスの向上に努めた。
- ・職員のスキルアップを図るため、職員に対する研修を実施し、サービスの向上に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成30年度から、第1トレーニング室の個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定している。
- ・平日午前中の大・中アリーナの利用を促進するため、平成30年度から個人利用者向けの朝割料金を設定している。
- ・ポイントカードを発行し、一定のポイントに達した利用者が施設を無料で利用できるサービスを実施している。
- ・レディースデイを設定し、女性の利用促進に努めている。
- ・情報誌「ジムワールド」を毎月発行し、地元市、近隣市に広く配布するとともに、ホームページの充実を図り各種情報を提供している。
- ・自主事業として健康体力づくり教室を開催し、施設のPRと利用者の増加に努めた。
- ・県総合体育センターと連携し、TOYAMAアスリートマルチサポート事業の拠点施設として、サポート競技及びサポート選手に対して、体力測定（延べ102名）やトレーニング指導（延べ242名）を行った。
- ・地域の医療機関及び専門医の協力により、スポーツドクターによるスポーツ障害無料相談会を実施した（計59人参加）。
- ・地域スポーツクラブ及び隣接する砺波市温水プールと連携し、スポーツの日にスポーツフェスティバル（施設の無料開放、スポーツ教室・体験会、体力測定等）を開催した（延べ3,711名参加）。
- ・季節に応じたイベントの実施（施設内へのクリスマスツリー設置、正面入口でのイルミネーション点灯）により、集客に努めた。
- ・隣接する砺波市温水プールと連携して、各施設の利用者の相互利用の促進に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：①スポーツ障害相談参加者、②プレゼントクイズ応募者
回答者数	回答者数：①59人、②186人
結果	・意見・要望等 駐車場の白線が消えているので、車が停めにくい、ホームページの内容は頻繁に更新いただきたい 等
結果を踏まえた改善事項	・管理者である砺波市に伝える。 ・引き続き、SNSを活用した、よりタイムリーで分かりやすい情報発信に努める。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・モニタリングの実施 ⇒年1回、利用者から18名を抽出し、設備、環境や職員の接遇についてモニタリングを実施（回答者 14名：全体の平均評価 5点満点中4.6点）
・運営協議会の開催 ⇒年1回、学識経験者、スポーツ団体や利用者の代表等12名の委員で構成する協議会を開催し、運営方針、施設利用、事業内容等について協議を実施

③主な苦情と対応

・トレーニング室のストレッチマットを清掃するためのクイックルワイパーのようなものがあればよい。 →トレーニング室のストレッチコーナーと幼児室のマットの消毒液配置場所に、フローリングワイパーを配置した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

・地域の学校や競技団体等からの要請を受け、運動指導を実施した。 ・地域の医療機関と連携し、生活習慣の改善や健康増進のための講習会・運動プログラムを提供した。 ・同センターを拠点とする地域スポーツクラブ（SEIBUスポーツクラブ）と連携し、月3回の木曜日（13～15時）を「SEIBUスポーツデー」として利用促進を図っている。
--

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・全職員を対象とした避難訓練・防災訓練（通報伝達訓練、初期消火訓練）を実施した。
- ・隣接する砺波市温水プールとの一体的な緊急連絡体制を確立しており、自衛消防訓練を合同で実施した。
- ・危機管理マニュアル（安全利用・緊急対応マニュアル）に沿った対応を現場で確認し、職員に徹底した。
- ・施設管理にあたり、事故防止を最優先に、職員が施設や備品を定期的に点検した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・利用者の意見や要望を踏まえ、より使いやすい施設となるようサービス向上のための取組みを継続するとともに、平日の教室事業の充実など、利用の少ない時間帯等について利用促進を図る必要がある。
- ・引き続き、SNSの活用を含めた広報活動の工夫・充実を図る必要がある。
- ・県西部における競技力向上の拠点として位置づけられていることから、引き続き、測定機器等の施設設備を最大限に活用し、県総合体育センターや各競技団体との連携により、総合的な競技力向上を図る必要がある。
- ・利用者のニーズや時代に変化に対応できるよう休館日のあり方について検討していく必要がある。